

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 福山通運株式会社（証券コード:9075）

### 【据置】

長期発行体格付 **A**  
格付の見通し **安定的**

### ■格付事由

- 1948年設立の特積み大手。全国規模の物流ネットワークを持ち、高い輸送効率や物流施設の効率的な運営ノウハウなどを背景に、幅広い荷主との堅固な取引関係を構築している。17/3期売上構成比は運送事業88%、流通加工事業4%、国際事業3%、その他事業5%であり、運送事業が収益の柱である。近年はセイノーホールディングスとの業務提携を強化しており、共同一括配送の拠点増設や幹線共同運行のコース新設などが進んでいる。
- 過年度に進めてきた不採算荷主との取引関係是正を中心とした適正運賃収受の効果は一巡しつつある。また人件費や備車費の増加が続いており、収益圧迫要因となっている。このような中、当社は荷主に対してコスト増加分の基本運賃への転嫁を進めてきた。足元では高い輸送品質を背景に、運賃転嫁に対する荷主の理解が進んでいる模様であり、当面は現状の利益を維持出来ると考える。今後も物流センター新設などの設備投資が見込まれるが、営業キャッシュフローの範囲内と見られ、財務構成は緩やかに改善すると考えている。以上より、格付は据え置き、見通しを安定的とした。
- 18/3期第2四半期累計営業利益は52億円（前年同期比0.1%増）となり、期初予想の46億円を上回った。コスト増加を一定程度運賃へ転嫁できたことや国際事業の好調などが背景にある。18/3期営業利益は112億円（前期比1.2%増）の見通し。引き続き運送事業の採算改善が続くと見られる。今後は主力である運送事業の更なる収益力強化に向けた取り組みに注目している。重厚長大荷物の取扱量削減および商業小口荷物の取扱量拡大による採算性の向上や輸送効率の改善状況などを確認していく。
- 18/3期第2四半期末自己資本比率は55.4%（前期末55.5%）など、財務構成は比較的良好な水準にある。今後もネットワーク拡大に向けた設備投資が想定されるが、大型投資は一巡しており、フリーキャッシュフローは黒字を維持出来ると考えている。またM&Aや新規事業の開始に向けて投資額が増加する局面も予想されるが、一定の財務規律に基づく投資を実行する方針であり、財務構成に与える影響は限定的と見ている。

（担当）加藤 直樹・外窪 祐作

### ■格付対象

発行体：福山通運株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年11月30日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：
 

評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<http://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
 

本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ ([http://www.jcr.co.jp](http://www.jcr.co.jp/)) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「陸運」(2011年12月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
 

(発行体・債務者等) 福山通運株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
 

本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
 

JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<http://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル